

ていいのでありましようか。

日本の国には、高齢期を迎えれば77歳なら喜寿だ、88歳なら米寿、90歳は卒寿、99歳なら白寿、こういって高齢をみんなで祝う社会があるのではないのでしょうか。それが高齢を迎えたら、この社会に居心地が悪くなるような、そんな制度をつくっていいのか、そのことを深く考えるものであります。

政府は、医療制度の説明の中でお金のことをいろいろ言っているようではありますが、財源を理由にして、まず真っ先に高齢者の命をおろそかにする、高齢者の医療から削っていく、こんな国に未来はないと思うのであります。暮らしが苦しいから、まずお年寄りの暮らしから削ろう、こんな家庭は日本にはないと思うのであります。後期高齢者の制度を新たにつくるといふなら、「75歳まで長生きされておめでとうございます。きょうから医療費の心配はありません。最高の医療が受けられます」、これが私は政治だと思うのであります。4月からの実施を注視し、後期高齢者医療制度の撤回を求めまして、本予算案に反対の討論とするものであります。

○佐々木謙二議長 通告による討論が終わりました。

これより採決いたします。

議案第11号について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○佐々木謙二議長 起立多数であります。よって、議案第11号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第41、議案第12号 平成20年度長井市水道事業会計予算の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第12号について、予算特別委員長の報告

は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。よって、議案第12号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

委員会付託の省略について

○佐々木謙二議長 お諮りいたします。これより上程いたします議案は委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

日程第42 議案第49号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任について

○佐々木謙二議長 それでは、日程第42、議案第49号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 議案第49号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任についてご説明申し上げます。

本案は、平成20年3月26日をもって任期満了となります梅津至恵さんを改めて選任いたしたくご提案申し上げるものでございます。

よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○佐々木謙二議長 提案者の説明が終わりました。

本案は人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、直ちに採決いたします。

議案第49号について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。よって、

議案第49号は、原案に同意することに決定いたしました。

日程第43 議案第1号 原油および飼料価格高騰に関する意見書の提出について外2件

○佐々木謙二議長 次に、日程第43、議案第1号 原油および飼料価格高騰に関する意見書の提出についてから、日程第45、議案第3号 食料自給率向上および食の安全・安心の確保に関する意見書の提出についてまでの3件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

議席番号12番、藤原民夫議員。

(12番藤原民夫議員登壇)

○12番 藤原民夫議員 議案第1号、第2号及び第3号についてご説明を申し上げます。

これらの案は、いずれも先ほどの請願第1号から第3号の採択に基づいて提案いたすものであります。

それでは最初に、議案第1号 原油および飼料価格高騰に関する意見書の提出についてご説明を申し上げます。

国際的な原油高騰を受け、灯油や重油などが異常な値上がりをしており、さらには石油を原料とする農業用被覆資材などに至るまで軒並み

高騰していることから、野菜や花卉などの園芸農家の経営は深刻な問題となっております。また、発展途上国の経済成長やバイオエタノールの需要増加などによる影響により飼料価格が高騰し、畜産農家においても厳しい経営を強いられている現状にあります。ついては、原油並びに飼料高騰対策として具体的適切な措置を講じるように、案のとおり政府関係機関に意見書を提出するものであります。

次に、議案第2号 生産調整の実効性確保および再生産可能な米価に関する意見書の提出についてご説明申し上げます。

米の生産調整については、自治体と農家が一体となって取り組んできましたが、米消費量の減少やミニマムアクセス米の継続的な受け入れなどにより、米価は生産費を賄えないまでに急落し、稲作農家の経営が成り立たないような現状にまでなっております。ついては、生産調整の実効性確保を図るとともに、ミニマムアクセス米の輸入量を削減するなど、適切な対策を講じるよう、案のとおり政府関係機関に意見書を提出するものであります。

次に、議案第3号 食料自給率向上および食の安全・安心の確保に関する意見書の提出についてご説明申し上げます。

内閣府が行った世論調査によりますと、我が国の将来の食糧供給に不安を感じている人の割合が75%を超えており、さらには牛肉のBSE問題や冷凍食品など、輸入農畜産物に対する消費者の不安は大きなものとなっております。ついては、国内での食料自給率を高めるとともに、安全・安心な国内農畜産物生産のための取り組みについて適切な措置を講じるよう、案のとおり政府関係機関に意見書を提出するものであります。

以上、よろしくご賛同くださいますようお願いを申し上げます。

○佐々木謙二議長 提案者の説明が終わりました。

これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、順次討論、採決を行います。

まず、日程第43、議案第1号 原油および飼料価格高騰に関する意見書の提出についての1件について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第1号は、原案のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。よって、議案第1号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第44、議案第2号 生産調整の実効性確保および再生産可能な米価に関する意見書の提出についての1件について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第2号は、原案のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。よって、議案第2号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第45、議案第3号 食料自給率向上および食の安全・安心の確保に関する意見書の提出についての1件について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご意見もないので、討論を終

結し、採決いたします。

議案第3号は、原案のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。よって、議案第3号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第46 議案第4号 道路特定財源の確保に関する意見書の提出について

○佐々木謙二議長 次に、日程第46、議案第4号 道路特定財源の確保に関する意見書の提出についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

議席番号15番、鈴木武次議員。

(15番鈴木武次議員登壇)

○15番 鈴木武次議員 議案第4号 道路特定財源の確保に関する意見書の提出についてご説明申し上げます。

本案は、去る2月7日開催の全国市議会議長会第84回評議員会において道路特定財源の確保に関する緊急決議が議決され、各構成自治体の議会に対して意見書の提出等について要請があったことを受けまして提案するものであります。

当長井市議会といたしましては、平成19年市議会12月定例会においても議決をいただき、関係機関に意見書の提出をしたところでございますが、道路は市民生活や社会経済活動を支える最も基本的な施設であり、活力ある地域づくりなどを推進するためには、道路整備が一層重要なものとなっています。については道路特定財源の暫定税率を堅持し、関連法案を年度内に成立させるように政府関係機関に意見書を提出するものであります。

以上、よろしくご賛同いただきますようお願い申し上げます。

○佐々木謙二議長 提案者の説明が終わりました。これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 今、ちょうどこれ、国会で質疑になっているところで、あんまり安易に賛成できる中身でないというふうに思うんですが、公共交通網のないこの辺の地域で、一家に車3台とか持ってますね。この税金というのは、ガソリン税というのは、市内でとは言わないですけども、おおよそ年間どれぐらいの消費量があって、どれぐらいの税金が納まっていると、これぐらいのことは、この出すに当たって何か資料があってでしょうか。

○佐々木謙二議長 15番、鈴木武次議員。

○15番 鈴木武次議員 そのような資料の請求もなかったようですし、議論もなかったでないかなと、こう思います。

○佐々木謙二議長 17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 あんまり根拠のない議案を提出されると、私もとっても困るわけなんだけども、一番困るのは、今、ガソリンが上がっていて大変なんでしょう。税金の分、下げてもらった方が車をいっぱい持っているところは都合いいんですよ。それで、逆に公共交通網があれば車はぜいたく品です。しかし、仕事に行くにも何をするにも車がなければ、自転車で行くわけにいかないわけでしょう。道路は必要ですよ。だけども、この前、宮崎にだれか、菅さんが、民主党のね、行って、要するに高速道路を走っていくのと一般道路を走っていくのとどっちが早いかって、15分ぐらい早かったみたいですね、高速道路を行った方が。だけども、それよりも必要なのは医者が近くにあればそんなに走る必要ないんですよ。その意味では、そんなに私は県民がガソリン、特定財源のための

税金を納めた分だけ、わかえし多分来てるんだと思いますけども、その辺の計算がなければ、なかなかいいとは言えないような気がするんですね。

必要な道路は生活道路でしょう。自分の近くの生活道路だと思うんですよ。だけど今やっているのはそうでなくて、この財源でいわゆる国道を中心とした主要道路を整備していこうと。これ大事ですよ、けども順番からいったら、そっちは2番目なんでないかと思うんですよ。ですから、こういう議案を提案するに当たっては、どの程度ガソリン消費されているかぐらいは、そんなに難しい話ではないと思うんですね、私は。

ならまあ、調べてないということでもいいですけども、あとは採決の中でするしかないんで。感想があれば。

○佐々木謙二議長 15番、鈴木武次議員。

○15番 鈴木武次議員 特別感想もございません。

○佐々木謙二議長 ほかにご質疑ございますか。
10番、高橋孝夫議員。

○10番 高橋孝夫議員 この問題は、ちょっと今、かなり微妙な問題だなと私も感じています。そこで、この意見書の中の最後に言っている関連法案を年度内に成立させるようというのは、これは政府・与党が案として出しているものをそのとおり通せということですか。どうなんでしょう。お聞かせください。

○佐々木謙二議長 15番、鈴木武次議員。

○15番 鈴木武次議員 ただいまの件については、特に委員会でも言及されなかったなど、こう思っています。

○佐々木謙二議長 10番、高橋孝夫議員。

○10番 高橋孝夫議員 そういうことをちゃんと確かめないで意見書を出そうとなったということだね、そうするとね。

もう一つ聞きますけども、12月定例会で意見

書を全会一致で出しましたね。その内容とこれと、どういうふうに違いますか。

○佐々木謙二議長 15番、鈴木武次議員。

○15番 鈴木武次議員 去年の議会に出したというようなことで、余り内容の違いということはないで、やりましょうのような議論だったなど、こう思っています。

○佐々木謙二議長 10番、高橋孝夫議員。

○10番 高橋孝夫議員 もう一つだけ。

現実的に今、与党が修正案を出して、そして議論をしましょうと、年度内にとということで進んでるわけですね。そういったことは、その委員会の中では語られなかったんですか、そういう今の背景というんですかね、国会での状況などは語られなかったということでしょうか。

○佐々木謙二議長 15番、鈴木武次議員。

○15番 鈴木武次議員 今仰せのようなことについては、特になかったようです。

○佐々木謙二議長 ほかにご質疑ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議会案第4号について、討論を行います。ご意見ございませんか。

10番、高橋孝夫議員。

○10番 高橋孝夫議員 私は、道路特定財源の確保に関する意見書提出については、反対の立場で討論を行います。

まず一つは、今と昨年の12月の段階では、かなり状況が違うということです。確かに昨年の12月定例会では、先ほど申し上げたように、私もこの意見書には賛同をしました。しかし、それ以降、特にことしに入ってから、この道路特定財源に関する情勢、状況というのは本当に根本から変わってきたと理解をしています。その違いをしんしゃくをしないで、同じようなものを提出をするというのは、私ども議会が逆に問われるということに私はなるというふうに思

います。現状は、道路特定財源のあり方自体が問われているわけです。さきの総括質疑でも申し上げましたけれども、道路特定財源については、一般財源化すべきだというのは世論の6割を占めています。同時に、暫定税率をこのままでいいのかという問いについては、これは反対とする声が世論です。その世論を反映できないのだとするならば、私は議会の存在すら問われることになるというふうに感じます。

よって、このきょう提案をされた意見書は、世論を代表していない、市民の声を代表していない。よって、私はこれに賛同をすることはできないというふうに考えます。ぜひ議員諸兄のご賛同を賜りますようお願い申し上げます、反対の討論とさせていただきます。

○佐々木謙二議長 ほかにご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ほかにご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議会案第4号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○佐々木謙二議長 起立多数であります。よって、議会案第4号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第47 議員派遣の報告

○佐々木謙二議長 次に、日程第47、議員派遣の報告であります。

別紙議員派遣報告のとおり、平成19年4月から平成20年3月までに地方自治法第100条第12項の規定により議員を派遣いたしましたので、ご報告いたします。なお、報告には議長の派遣、会派並びに議員個人に対するものは含まれておりませんことをご承知おき願います。

日程第48 閉会中における継続審査申出書

○佐々木謙二議長 次に、日程第48、閉会中における継続審査申出書の1件を議題といたします。お諮りいたします。お手元に配付いたしました申し出書のとおり、閉会中の継続審査に付することに異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

以上で本日の議事は全部終了いたしました。

ここで市長よりあいさつをいたしたい旨の申し出がありますので、これを受けることといたします。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 平成20年第1回3月定例会におきましては、施政方針並びに予算案を始め上程の各議案につきまして、議会の皆様から多くの貴重なご提言、ご意見をちょうだいいたしました。まことにありがとうございました。

また、このたび上程いたしました議案は、長井市自立計画集中改革プランに基づく、大変痛みの伴う厳しい予算等の議案ばかりでございま

したが、財政健全化に向けた正念場としての厳しい市の財政状況を踏まえながらも、市民生活の目線に立った議論により、条例改正並びに予算案等、重要案件につきましてご承認賜りましたこと、心より感謝申し上げるところでございます。

今定例会に上程いたしました重要議案につきましては、市民各層からの有識者で組織されました長井市行財政改革推進委員会からの最終答申並びに自立計画に基づく集中改革プランにより財政健全化に向けた正念場を乗り切るため、施策の骨子を固め、地区長連合会、各地区地区長会並びに市内7カ所で開催いたしました車座集会で市民の皆様から意見を求め、さらには種々のアンケート調査等により、地区長さん、保護者、利用者の皆様からご意見をいただき、議案の準備を進めてまいったところでございます。

平成20年度に予測されました多額の財源不足に備え、余儀なき改革とはいえ、市民サービスの低下や市民負担増の議案の上程については、内心、私も市政を預かる市長としてじくじたる思いでございます。

議案上程の過程では、将来に必要な各種基本計画策定や利用者、保護者の皆様への意見交換会等が不十分であるなど、準備不足のところもあり、今後は事前説明等に十分配慮するとともに、今定例会の議論の過程でご指摘いただきました議員各位の意見に意を用い、より適正な行財政運営に努めてまいりたいと思いますので、よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

施政方針で申し上げましたように、現在の私たちの長井市は大きな課題が山積しており、特に平成20年度はまさに正念場であり、あと2年と期限の迫った新合併特例法内での市町村合併についても、合併の方向性を決断すると考えておりますので、議会の皆様、市民の皆様とさら

+

に議論を深めたいと思います。

これら厳しい状況でも、行政は常に市民生活の目線に立ち、市民の皆様と力を合わせ、この課題を克服し、活力ある長井市をつくっていかねばなりません。このため私は今後とも市民の皆様、より一層の情報公開を進め、さらには施政方針についても、より市民にわかりやすい方針づくりに心がけてきたところがございます。そして上杉鷹山公の三助の精神に基づくまちづくり施策を推進し、特に自助として市民所得の向上を目標に、地域経済の再生、活性化に全力を尽くしてまいります。さらには互助としての協働のまちづくりを進めながら、本来、行政の使命である扶助について、いち早く子育て支援、教育・文化、そして介護や福祉に厚く予算を講ずることができるよう、議会、市民の皆様とともに、この危機を脱出してまいりたいと思います。そして名実ともに7年後、2015年、「東北一魅力ある都市」長井となりますよう、改めて議会、市民の皆様と力を合わせて、何事もプラス思考で、市役所一丸となり、全力で努力を重ねてまいりたいと思います。

最後になりますが、今定例会における議員の皆様のご理解、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、今後とも議員各位の皆様のご指導、ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。3月定例会閉会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。大変ありがとうございました。

閉 会

○佐々木謙二議長 これをもって平成20年第1回長井市議会定例会を閉会いたします。ご協力まことにありがとうございました。

午後 1時41分 閉会

会議録署名議員

議 長 佐々木 謙 二

16 番 鈴 木 新 助

17 番 蒲 生 吉 夫

1 番 竹 田 博 一